

物産品評報文

警務局長 評報文

第 八百七十八年 九月 七日 警務局長 八月 廿 六日 附本  
中ノ古箱、櫛ノ古、鼓告ス

一 毛皮類

品質良好ニシテ其價高カラズ唯常用者  
勤シト廉價ナクハ賣捌ヲ得ヘシ

一 雜草類

價高カラズ草質劣ラク此地多ク需用ニ  
適セザラシ又靴ハ長短俱、其形狀、同類ナ  
キ能ハス

一 麻

價高クシテ希少キ足込ナシ

一 昆布

此地、賣捌ケス

一 灌漑類

穀肉魚肉等、象象ナリ而綿羊ヲ屠リノ  
外ハ於テ原價ナリ

一 綿並

一 推草

滿州人ノ需用、消流スヘシ

一 右岸

官用ニ適宜スルト思ヘリ

一 塩漬魚肉類

總テ不潔ナリ商人ノ不評ニ極シハ塩漬ハ  
カラス思ラクハ腐蝕シ昂カラシ

一 麦酒

價高カラズ其價良好ナレモ洋者ノ好悪ス  
ル所ニ於テ諸説アリ

一 小麦粉類

良和ナリ唯赤粉ニ似テハ卸賣ヲ以テ得策  
トス

一 玉蜀黍粉

此品ハ赤粉ヲ難シ

一 大中小麦

農家ノ産物ナリ唯モ、席ナラサルヲ惜ム  
ノミ

一 豆類

人ノ食料、儲スル妙ナシ

一 木炭

價 高 且

一 糸茶

茶 拵 ケズ

一 マツチ

茶 拵 ケ好ルニシ

一 石 類 化粧用

茶 拵 好ルニシテ價 高 カラス 茶 拵 ケ好シ

一 円 洗濯用

價 高 且 良 品 ニ アラス

一 香 丸

良 品 ナラズ 純 粋 ノ ア ル コー ル ヲ 用 イ テ 製 造 スベシ

一 煉 化 石

價 高 且 中 港 需 用 ノ 為 度 ニ 造 セス

一 瓦

茶 拵 見 込 ナシ

一 精 子 葉 目 類 昔 外

價 高 且 茶 拵 難 シ

一 臘 中 腿

良 品 ニ シテ 子 價 高 カラス 茶 拵 好 カルニ

一 海 菜

切 許 ハ 茶 拵 ヲ 得 ベシ

一 塩 漬 麻 肉

價 高 且 シテ 茶 拵 ケ 難 シ

魯ノ曆千八百七十八年八月廿七日

ウラシオストウク港ニ於テ 遊芸系長海軍少佐セズキニスキ

日本國林卿書記友澄本大亮キト

開拓使

麵粉ノナール類文

關ノ原志ヲ以テ此條於テ蒙リニハ嘉粉類  
ノ欲造ニ付儀テ予カ定受ヲ本港市價ノ從從  
ニ奉テ附述スル丁左ノ如シ

カ一

和種ハ米粉ハ其質甚佳良ニシテ味亦良  
ナリ而シテ粉屑ノ力多クシ茶粉ヲ以テ  
尋常ノ麵粉ヲ定受スレバ必ス佳好ノ食料  
ヲ得ベシ

蓋シ上等ノ麵粉ヲ製セシトスルニハサリ得  
色ヲ帯ビ良好ナラザレトモ尋常ノ麵粉  
ヲ定受スルニハ適意スベシ市價ハ予カ思

開拓使

考、ハ美行の粉行入き、魯質三ル一ブル  
乃至三ル一ブル五格コバ一キナルベシ

第廿

米國種白やま粉ハ碎磨、多ク高トシテ予  
粉質モ亦佳品ナリ且粉色モ粉粉、比々レハ  
稍白ク加フ後レハ米國産ノ上等粉、故フ  
レバ予ハ白色或ハ少ク劣ル所アラシカ甚ト之  
ヲ以テ美質ノ食料ヲ製スルニ難ク容レ  
サレ所ナリ

若價ハ不候ト時價トニ高ト毎々少ク行  
カスニテ魯質三ル一ブルヨリ四ル一ブルニ至ル  
ベシ

第廿一

赤種、混皮やま粉ハ不候佳良ニシテ味モ  
軟ん、質ナリ是ヲ以テ馬乳ヲ常々スレハ或ハ  
之ニ優ルモノサカラシ蓋シ物意ハハ切港ニ  
於テ著キ言ヲ考、粉クニ至ラサルベシ何  
トナレハ混皮粉ノ食料ヲ食セシヨリハ寧  
口慣習ノ程、麦乳ヲ好ムハナリ

然レハ混皮粉ハ混皮赤種或ハ内傷ニ生テ  
粉入セル者ナシ故ニ之ヲ用ユルニ多ク稀  
ナリ也、内傷、田舎等ニ至レバ一握ノ食用  
トス價ハ年ノ豊歉ニ依リ、ニユリスケールニ  
於テ魯質一ル一ブルヨリ一ル一ブル二十五コバ  
一キナリ

第廿二

市岡赤粉ハ粉乾褐色ヲ帶ブ多ク  
市場、赤粉ニ浮ベキ肉納ナレ且能令  
茶粉ヲ以テ良キ粉ヲ造リ得ルモノ好ク  
ニ適セサルベシテ放ハ粉乾ハ黒粉トスレハ  
粉ノ白色ニ色キ又多粉トスレハ黒キニ味ス  
レハナリ

蘇、豆タキシ懐ナルハ今般閣下ノ中港、  
福妻ヲ輸送セガルノ一事ナリ魯國政府  
ハ是ヲ以テ寧ラ海陸兵兵ノ食用トス而シ  
テ是等皆コロレスタツト港ヨリ福妻ス  
ルモノノミナリ

魯國ニ於テハ苦粉ヲ以テ海陸軍人及人民  
等必要ノ食料ニ用ルヲ以テ之ヲ費用スル  
極テ多シ故ニ赤粉キコト有モ亦大ナリ其  
價ハ時ノ約定ニ依リ一ポードニ付魯貨一ル  
ーブル五ナコペーキヨリ一ルーブル七十ナペーキ  
ニ至ルベシ

小麦粉ノ荷造リ方ハ相傳ヨリハ蒙法ノ方  
宜ニ且簡便ニシテ且之ヲ造ルノ費用モ亦  
廉價ナルベシ

本年 西曆一九一七年 一月一日ヨリ七月十日まで  
香港、粉入セシ小麦粉ハ概シテ方ニ千フット  
ナリ 小麦粉ハ十月ヨリ一月マテハ能ク保存  
スルヲ得レトモ古七八九ノ穀月ハ亦熱湯煮  
ノ爲ニ粉入ヲ受クルコト宜ク故ニ一回ニ多  
ク粉入スル能ク

右邊ノ大命アリテ列ニ在國ベキ事地モ  
有之、然テハ護テ國下ノ命ニ從フベシ  
之帝、皆稱ノ中、保モ有之、第ハ事勢ヲ取  
扱フ一事ヲ命セラル、コアルモ、護受スル  
所ナリ

予ハ日本ト西比利亞國トノ貿易ノ基礎  
全權ニ、定之セシコヲ企望スル年、以  
惶惑白

浦淵新徳

千八百七十八年九月 一、メナ一識

呈日奉 閣林長官 黒田公 閣下

佛入コアール 厥洋ノ略 九月

本綿歌

外國ノ輸入品ヨリハ、高價ノ品ナリ、他國刻音價  
ナルヤ、烟油ニ、純後セガ、却テ高價上ニ、移テハ、  
ルীগアルノ、相場者ニ、言紙アリ、第一、流名スヘキ  
ナリ

マツチ

ミスター ス 松重 コーキー ナラハ、必ス、奉ムアル、  
地ノ、由、美、在、場、或、松、重、コーキー、在、ナリ

統

一、ポート 一、ポートハ、我、日、買、小、松、重、コーキー、ヨリ、六、松、重、コーキー、ヨリ、

開 五 使

大豆

一ノキニワケ 前ノ六松コペーキニテ 雑米セリ  
一ノキト一ノルブル十コペーキヲ通帯ノ大橋トセリ  
カノ河平ノ肥料トシテ 田圃ニケリ

茶

細茶ハ七向ナリ 細茶ハ其那ノ人ノムニテ「ニスラ  
イスキネ」ヨリ 其細口ヲ 柳造シ 而比利直地  
方ノ茶 樹ケリ 在常一ノクニ 五コペーキ位  
ナリ

白米

米ノ赤橋 穀今ヨリ入キ 俵ハルブル位ナリ 然レト  
モ時々 言低アリ一テ 年ノ茶 樹ケルハ 曰子 俵位ナレ  
ヘシ 必ス多ク 橋入スバ カラズ 若ク 新 沼 ヲリ

石鹼

新 俵 橋 入ニテ 大ニ 換 失セシモノアリシ

魯西人ノ折好ニ 應テ 形 狀 着 色 等ヲ 折 衷セシ  
ナラハ 赤ナリ 赤ク 樹ケ 得ベシ 色ハ 青、緑、白、  
色ヲ 宜トス一ポトト 赤一ポトト 二百ポトト 二十五「コペーカ」位  
ナリ 世モ 赤ノミニテ 大ナル 賣 樹ハ ナシ 難ト

薩法鞋

卸 賣ノ 價ハ 昔ゾ 一スセハ 八ルブルナルベシ 大ナル  
赤 樹ケハ 鞋ト 一月 五六ゾ 一ス位 ナルヘシト 考ヘ  
リ

セームレール

南 地ニハ 適 當セザル 品 物ナリ

本草各種

開 示 録



常々松ノ少明ナリ

昆布

苦地ニモ多ク出産ハキカトキルノアル位ナリ  
輪ノハ、也適南ナリ

鮫 常海氣

上ノ月ニ皆、也適南ナリ

石炭

本島ト峽城並ニ皆ヨリ輪ノセリ積松等ハ、也  
明ナリ

瓦

子局ナリ

糖化石

一、形、カヲ以テキチ角、糖化石ヲ製シ破

壞セザルモノ、此ガレバ石ナリ本島、適南ナレ  
バ、長、短、局ニテ、子、枚、二十八、一、ル、一、アル、位、ニ、テ、買、取、ル  
ナル、ハ、シ、百、餘、ヨリ、持、取、テ、ハ、製、糖、ノ、為、ニ、換、取、ス  
ナラシ

茶、阿、白、種、也、茶、粉

茶、阿、白、種、也、茶、粉、南、港、ノ、赤、橋、ノ、名、産、ノ、時、ハ、廿、十  
斤、入、ル、一、ル、一、アル、位、ニ、上、海、後、ノ、片、ハ、四、一、ル、一、アル、位、ナリ  
茶、葉、本、ノ、名、ハ、四、一、ル、一、アル、位、ニ、六、ナ、コ、ペ、一、キ、ニ、テ、ハ、廿、五、ク  
ノ、名、産、ナリ、幾、許、カ、減、ス、レ、バ、必、ズ、赤、人、アル、ベ、シ、製  
ハ、重、中、等、ニ、テ、茶、阿、白、種、ヨリ、輪、入、ノ、品、ト、同、一、ニ、此、ル、ベ  
シ

改良ノ小麦粉

「コロ」ニスタットト「ヨリ」輪入台キブート「一」ル「一」ブ

小麦

ルナコペーキ後ナリ品今ハサレク低價ナリ

「コパート」ルブル後ノ相場ナリ於解人満員人ハ食用トス樹言莖サナレハシ

大豆

「ニコリスキー」ニテ先日「パート」五ナコペーキノ刻ニテ買然タリ夫より我家マデハ之頃ノ距離アリ家ニテ買然トキハ六ナコペーキノ刻合ナリ

小麦

在後付るる者九ル「ブル」五ナ「コペー」キニテサレハ高樹ニシ

大麦

ビー「ル」者造ノ用ニ充テ常樹ベシ高用ノ負

穀ハ五分調ナリ

上麻

安那人多ク用ニ於解人廻經字ニ用之ナリ廻傳材産ニテ常者造ノモノアリ在後及ヒ常樹ノ常況ニ明分

麦酒

南地ニテ製造ノモノ者親二十五「ペーカ」キター「ス」ニル「アップル」樽買ナレハ者樽二十瓶夫ケノ量ヲ入タルモノ者樽買ナレハ四ル「フ」ルノ由未タ發賣セズ

猪皮

南地方ニ沃ムアリ橋入ム可ナリ

猪皮

南地ニテニ「ル」グ「ル」位ナリサレハ樹ケハシ

開拓

将多能

あ那人 留居人ニサレハ賣捌ケレトあ那人ヨリ素ハ  
モノアリヤ等名ナリ

荻籬

「エユキキイ」ニテ 荻籬造ス又「カムサツカ」ヨリ素ハ  
ノアリヤ等名ナリ

経 麻 籬 本 産 漬

切レノ荻籬ハアルベシト 荻籬 氏 氏 本 産 二テハ 標 志  
夕 富 也

豚 骨 燻

常 刺 二 目 口 二 豚 骨 燻 ナレバ 殊 々 宜 二 相 傷 ハ 大 極  
葉 々 ポ ン ト 四 十 五 コ ペ ー キ 沃 山 ハ 亦 向 ナリ  
中 燻 ハ 燻 紙 毎 二 十 本 毎 二 燻 送 セ ハ 宜 也 カ

靴

ル (一)

漆ガ儿 華ナレバ 常ノ 樹ニ 宜シ

魯都ニテ 古ノ 常ノ 靴ハ 四 五 ルーブルニ 常ノ 樹  
ケレテ 年ニ 古 靴ハ 六 百 尺 毎 二 燻 入 セ ハ 可 ナリ 蓋 也

昔 産 用 ヲ 賣 込 ム ナレハ 格 別 ナリ

村 中 靴

村 中 靴ハ 自 分 所 持 ノ 漆 骨 靴 吹 風 河 畔 ニ アリ  
一 日 二 八 十 本 ( 陸 大 古 寸 毎 ) 半 均 古 七 百 枚 ヲ 産 割  
セリ 汎 濫 ハ 二 十 日 毎 カ ナリ

欄 不 建

欄 不 建

開  
拓  
使

阿波に在る諸島を人々ニ示シテ其ノ界ヲ示シ  
其ノ中ニ在る島々ノ名ヲ列シテ示シ

阿波ノ島々ノ名ヲ列シテ示シ  
其ノ中ニ在る島々ノ名ヲ列シテ示シ

予ハ七ヶ島ノ名ヲ列シテ示シ  
送シテ阿波ノ島々ノ名ヲ列シテ示シ

阿波

阿波ノ島々ノ名ヲ列シテ示シ  
送シテ阿波ノ島々ノ名ヲ列シテ示シ

阿波

阿波ノ島々ノ名ヲ列シテ示シ  
送シテ阿波ノ島々ノ名ヲ列シテ示シ

開  
拓  
使